

# オスプレイの厚木基地飛来をめぐる動き

7月15日、米海兵隊の新型輸送機MV-22オスプレイが厚木基地に飛来しました。オスプレイの厚木基地への飛来は今回が初めてです。

これに先立ち、7月9日、南関東防衛局長から大木大和市長へ、同日15日にオスプレイ1機が人員輸送のため厚木基地に立ち寄り、静岡県のカンパ富士へ飛来する旨の連絡がありました。これを受け、大木市長は、「空母艦載機の移駐が3年も延期されている中、オスプレイが厚木基地に飛来することは市民の負担増加につながるおそれもあり、容認できないものではない」とコメントを発表。同日、米海軍厚木航空施設司令官や防衛大臣などに対し、要請活動を実施しました。

その後、オスプレイは7月15日午後、厚木基地に飛来し、キャンプ富士に向かいました。さらに、同月18日も厚木基地に飛来したことから、大木市長はオスプレイの厚木基地への飛来を確認後、厚木航空施設司令官に対し、再度強く要請しました。

また、7月31日には、8月18日にオスプレイが厚木基地に飛来し、静岡県の東富士演習場などでの訓練後、同月23日に厚木基地から普天

間基地に帰投する可能性がある旨の連絡がありました。これを受け、大木市長は改めて厚木航空施設司令官などに、オスプレイの飛来に対し要請活動を実施。あらゆる手段を講じて市民の負担を軽減するよう求めました。

## ※米海兵隊の新型輸送機 MV-22オスプレイとは

ヘリコプターのような垂直離着陸機能と、固定翼機の機能を持ち合わせた航空機。同機の安全性などに関する懸念が報じられる中、政府は日本への配備に当たり、いわゆる安全宣言を発表した。また、オスプレイのようなティルトローター機の自衛隊への導入も検討しており、佐賀空港へ配備する意向も示している。

現在、オスプレイは沖縄県の米海兵隊普天間基地に24機が配備されており、昨年来、訓練や展示などを目的として、各地に飛来している。



## ■基地対策協議会が緊急要請

市民・議会・行政の代表で構成される大和市基地対策協議会(会長：大木市長)は7月22日、木原稔防衛大臣政務官、石原宏高外務大臣政務官にそれぞれ面会。オスプレイが厚木基地に飛来したことを受け、緊急要請をしました。

これに対し、木原政務官は、「オスプレイの安全性などについて十分な説明をする」とともに、負担軽減にしっかりと取り組んでいくなどと述べました。



防衛省で木原政務官(写真奥)に要請する大和市基地対策協議会委員ら

市は引き続き、厚木基地に起因する諸問題の解決に向けて取り組んでいきます。  
※厚木基地をめぐる最新の動向については、市ホームページでお知らせしています。

## 街づくり学校(基礎コース)を開催

テーマは「まちの成り立ちを知ろう！」

市では、地域における街づくりの実践に役立ててもらおうと、街づくり学校を開催しています。

今回開催する基礎コースでは、土地の使い方や建物の建て方など、街づくりにかわるルールを学びます。タウンウォッチングも交えながら、初めて参加する人にも分かりやすく解説します。ぜひご参加ください。

と き ▼ 11月8日・29日、12月6日の土曜日午前10時～正午(全3回)・11月29日は午後0時30分まで

と ころ ▼ 市役所会議室棟  
対 象 / 定 員 ▼ 市内在住・在勤・在学者 / 先着30人

講 師 ▼ (株)都市計画21 鵜沢賢一氏  
申し込み ▼ 10月15日(水)までに直接、電話またはファクスで市役所街づくり推進課へ。市のホームページからも可。

■ 市役所街づくり推進課街づくり推進担当 ☎(260)54833 FAX(260)6105

■ 市役所基地対策課基地対策担当 ☎(260)5310 FAX(260)5316